

第549回遊佐町議会定例会一般質問通告書

令和3年9月定例会

通告順	通告者	質問事項	要 旨
1	7番 菅原 和幸  (一問一答)	1. 「舞鶴202」を行政デジタル化の拠点にするには	<p>昭和29年8月1日の遊佐町合併後、第三代目となる庁舎が8月30日に開庁する。二代目の庁舎は取り壊され駐車場となるが、昭和・平成・令和の60年間には、機構改革や行政事務の変化等に対応するため増改築もあった。</p> <p>令和3年度施政方針に、新庁舎を拠点に行政のデジタル化を進め、力強い地域社会と快適な町民生活の実現を目指すとする。</p> <p>行政面では、これまで以上に情報通信技術(ICT)を活用する時代が到来する。災害時は素より、町民の利便性を高めるICT化を図るべきであり、新庁舎はその拠点として期待される。ICT推進に係る基本方針について伺う。</p>
		2. 町民生活の安全を最優先とした調整を	<p>昨年末に遊佐比子インターまで開通した日沿道、県境区間までの建設工事が風景のひとつにもなっている。一方、再生可能エネルギーのひとつでもあるバイオマス発電事業が、町内で動き出す。両事業とも数年は工事が継続されるが、町民生活の安全を保つことも重要である。</p> <p>発電事業に関連する国道交差点改良のほか、他の地域からも道路改良の要望が町に寄せられていると考えるが、国及び県等との調整はどのような状況にあるのか。</p>
2	6番 松永 裕美  (一問一答)	1. 遊佐町オリジナル「地域紙幣制度」の新提案	<p>町の美化活動や安全・治安ガード等を自主的にかって出て下さる町民の方々が多くなると、町はどんどん住み良くなると思える。そのようなボランティア活動を実践して下さる方への「地域紙幣制度」を使つての「DDAZIN(だちん・駄賃)政策」の新提案について、ご所見を伺う。</p>
		2. 新庁舎に来庁して下さる町民の皆様への対応改善について	<p>『町民ファースト』を一番発揮出来て、かつ町民の皆様がそれらを実感して頂けるチャンスやシーンは、やはり庁舎に来て頂いた際の一人一人の町民の方やお客様への職員の対応の仕方であると思える。</p> <p>ワンストップ窓口は効果的な手法ではあるが、当町にふさわしい新庁舎運営に適した新たな対応策や改善策を伺う。</p> <p>(※ワンストップ窓口とは、自治体での各種手続きの際、町民のための窓口を複数から1つに集約し、例外を除き1箇所で動かずとも手続きが全て完結出来る取り組みの事をいう。)</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
3	2 番 那須 正幸  (一問一答)	1. マイナンバーカード、新庁舎での活用と普及は	新庁舎が完成し、その利便性に町民の期待は大きいものがある。窓口の業務は今まで通りの業務内容なのか、もしくはもっと利用しやすい環境になったのか。ICT化が進む中でマイナンバーカードはどう利用したらいいのか、登録したものの利用頻度が少ないのも現実である。現在の普及率とこれからのマイナンバーカードの利用について伺う。
		2. 日本海沿岸東北自動車道が「町を変える」	町内のいたる所で、令和8年度まで開通予定の日沿道の工事が行われている。2年後には「遊佐鳥海インターチェンジ」までの開通となるが、日沿道の開通により町内の交通の導線が変わることは間違いない。注目したいのは、インターチェンジから2分ほどの所にある「遊ぼっと森のゾーン」。開発からかなりの年数が経つが、きれいに整備されグラウンドゴルフ場としても利用頻度が高く、ウォーキングなどで健康管理をするのに持って来いの場所である。しかし、当初からある音楽堂はほとんど利用が無く、かなりの老朽化が進んでいる。また、北側はあまり利用されていない。1級保安林との事だが、できる範囲で整備し、オリンピックで盛り上がったスケートボードのコースや、音楽堂などはバスケットボール3×3のリングに変えて若者や家族で気軽に遊びに来れる環境を作ってはどうか。無いから人は来ないのである。日沿道の開通に合わせ、遊佐が通過点ではなく目的の場となるような利用計画を。
4	8 番 赤塚 英一  (一問一答)	1. 水産振興の今後は	夏の観光の目玉の一つでもある岩ガキの漁獲量は、年々減少傾向にあると言われている。 観光資源としても産業としても、その重要性は増していくものと思うが、町として今後の水産振興についてどのように考えているのかを伺う。
		2. 紙資源の活用は	今回の引越し作業で、不要となった紙類の廃棄も多かったと思う。 これを機に、資源の重要性と再資源化への取り組みと、他の施策との相乗効果について、どのように取り組んでいくか町の考えを伺う。
5	9 番 阿部 満吉  (一問一答)	1. 専門的知識を持った職員の採用を	職員の採用にあたって、どのような基準を持っているか。一般に市の職員では、建築士の資格を持つものがあげられるが、空き家が増える当町にも必要では。 また、自然豊かな遊佐にとっては、自然保護に詳しい人材も求められる。地域おこし協力隊を3年で手放すのも惜しい気がする。

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
6	11番 齋藤 弥志夫  (一問一答)	1. 50%のプレミアム付き商品券の発行	<p>新型コロナウイルスのパンデミックや国内感染流行による小売業、飲食業、ホテル業、観光業などの落ち込みを緩和させる目的で、プレミアム付き商品券を発行している自治体が数々あって、何らかの支援をしている。ペイペイ支払いによるポイント還元も最大2万円で、それなりに消費拡大に効果は期待できるが、もっと直接的に消費を促すのは50%のプレミアム付き商品券である。</p> <p>昨年は40%のプレミアムであったが、自由な消費行動をとることができて、町民のみなさんに歓迎された。消費拡大を進める更なる一歩として、新庁舎完成記念50%プレミアム付き商品券の発行を提案するものである。今年の年末に50%のプレミアム付き商品券を発行して、新庁舎完成を消費の面からも拡大して祝うことは、町民にとって家計が豊かになるハッピーなイベントになる。</p>
		2. 丸池様に寄付金箱の設置	<p>町内の施設の所々に、町の寄付金箱が置かれているようであるが、寄付金箱は町内に何個あるか。寄付金箱がそこに設置されるに至った経緯と理由はどのようなもので、年間の寄付金額はどれほどか。集まった寄付金をどのような目的に使用しているのか。あるだけの寄付金箱について以上のことを伺う。</p> <p>丸池様は見物人が増えているし、町内のジオサイトとしては胴腹滝よりも人気が上がっているようだ。このような丸池様に大物忌神社系の賽銭箱とは別に寄付金箱を設置すれば、それなりに寄付が集まるであろうが、いかがか。</p> <p>三ノ俣・さんゆうの水くみ場には賽銭箱が置かれているが、ほとんどアスファルトの土間の上に置いているようなもので、置き方としては不適切。賽銭箱はある程度の高さのある所に置いて、雨が当たらないように屋根を設けるのが通常の方法であって、賽銭箱の設置の仕方の改善を行ったらどうか。</p>
		3. 避難指示とペット	<p>大雨、洪水などの災害が数多く発生している。避難勧告は廃止され、警戒レベル4までに危険な場所から全員避難である。ペットがいる場合、ペットを連れて避難場所に避難してよいのか、どのような決まりごとと注意点があるのかを伺う。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
7	5 番 齋藤 武  (一問一答)	1. PayPay 還元事業の停止から、何を学んだのか。  2. 町職員（行政一般）の受験資格に住所要件がわずか1年で復活した。なぜか。	<p>当初8月及び9月に実施される予定であった、キャッシュレス決済「PayPay」へのボーナスポイント還元事業は、早々に予算額に達したため、8月いっぱい打ち切りとされた。</p> <p>このことに賛否はあるが、私は妥当な判断だったと考える。</p> <p>その上で、町はこれら PayPay にまつわる一連の出来事から、何を学んだのだろうか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症との付き合いが長くなり、経済的支援の在り方はより落ち着いて検討すべきかもしれない。あるいは、新型コロナウイルスが有ろうと無かろうと、町は「地方政府」として確固たる経済政策を備えるべきであり、それとの整合性も問われるだろう。</p> <p>難しい舵取りだが、より一層オール遊佐の英知を結集すべきではないか。</p> <p>町職員（一般行政）の受験資格のうち、住所要件（遊佐町に住所を有すること、また就学等の場合は父母等が町内に住所を有すること）が令和3年4月採用分については撤廃されたが、これから採用試験が実施される令和4年4月採用分には、わずか1年で復活した。重要事項だが、議会に経緯の説明もされていない。</p> <p>これはなぜか。人材は広く募るべきであり、多くの自治体で住所要件はない。世の趨勢<small>すうせい</small>に完全に逆行しているのではないか。</p>
8	4 番 佐藤 光保  (一問一答)	1. 遊佐町沖洋上風力発電事業計画について  2. 地域で守る子どもの未来について	<p>(1) 町民の理解と合意を得るための情報公開は十分か。</p> <p>(2) 町のメリットはどうか。</p> <p>(3) 洋上風力の規模と景観等への影響はどうか。</p> <p>(4) 低周波、騒音等についてはどうか。</p> <p>長引くコロナ禍の下、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、小・中学校で生理用品を無料で使えるようにできないか。</p>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
9	1 番 本間 知広  (一問一答)	1. 「地域通貨」の電子化による経済の活性化を	<p>社会のICT化が進んでいる。それに伴って普段の生活の中に「デジタル」が徐々に普及してきている。身近な所で言えば、買い物が一番わかりやすいのではないだろうか。「〇〇Pay」などの名前でスマートフォンを活用したいいわゆる「電子決済」が急速に普及してきている。</p> <p>電子決済については、コロナ禍にあって感染防止のために、人との接触を避ける意味で普及が拡大した側面もある。また一方で、使うとお得になる様々なプランも普及を後押ししていることは間違いないだろう。</p> <p>これまでも、経済の活性化を図るために、プレミアム商品券事業や観光クーポンの発行、米〜ちゃんスタンプカードへの支援など行ってきた。今後、そういったものについて電子化を進め、「地域通貨」として活用していくべきと考える。</p> <p>ある自治体では、イベント期間限定ではあるものの、独自の電子通貨を発行し、地域限定で使える仕組みを創り、活性化に繋げた例もある。</p> <p>コロナ禍が落ち着き、交流が増えてくれば、ますます電子決済の需要は増えることが予想される。先の自治体の話ではないが、電子化による地域の活性化を進めていくべきと思うが町の考えを伺う。</p>
10	3 番 佐藤 俊太郎  (一問一答)	<p>1. 地球温暖化現象下における行動指針は</p> <p>2. 緊急時通報システム事業は</p>	<p>気象変動に関する政府間パネル (IPCC) 第6次評価報告書で、気候の現状は「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない。大气、海洋、雪氷圏及び生物圏において、広範囲かつ急速な変化が現われている。」</p> <p>「継続する地球温暖化は、世界全体の水循環を、その変動性、世界的な季節風に伴う降水量、降水及び乾燥現象の厳しさを含め、更に強めると予測される。」と報告された。これを受け、現在執行中の「環境自治体づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「LAS-E」の現状と予測についてお伺いいたします。</li> <li>・「LAS-E」では「町民主導による政策実行」とあるが、その実情についてお伺いいたします。</li> <li>・炭素クレジットに関し見解をお伺いいたします。</li> </ul> <p>ひとり暮らしの高齢者等の急病や災害等の緊急時に、迅速かつ適切な対応を図るために、高齢者等に緊急通報機器を貸与し、酒田地区消防組合、民間の緊急通報受信センター、民生委員、近隣住民及びボランティア等の協力を得て、当該高齢者等の居宅での生活の継続を支援することを目的とした施策。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような機種（機能）で何台保有し、何人に貸与中か</li> <li>・現時点までの運用実績は</li> <li>・町負担分の設置費用は</li> <li>・今後の事業見とおしと改善予定をお伺いいたします。</li> </ul>

通告順	通 告 者	質 問 事 項	要 旨
1 1	10番 高橋 冠治  (一問一答)	1. コロナワクチンの若年層(12歳～15歳)の接種計画は	未だ猛威を振るう新型コロナウイルス感染症だが、わが町では、65歳以上のワクチン接種は8月中旬に2回目の接種が終了し、64歳以下の接種が現在行われている。12歳から15歳は現在調整中としているが、どのような課題があるのか伺う。
		2. 町が強く推し進めている定住支援事業が低調である課題は	今年度の移住定住支援事業が低調である。 コロナ禍以前の4年間平均は、18.5組44人が定住している。 今年度は0組で未だないが、課題を整理し次に繋げるための考えは。
		3. 「PayPay 利用還元お買い物キャンペーン」早期終了における町民への周知は適切であったか	6月議会で承認された事業であり2か月間の実施予定であったが、予想を大きく上回る利用により8月で早期終了となった。当初から2か月間の実施にあたっての予算額の根拠は何なのか。 町からの告知が遅れたために、町民・取り扱い業者からは戸惑う声が多く聞かれた。対応は適切であったのか伺う。